

News Release

2019年5月23日
 独立行政法人製品評価技術基盤機構
 N I T E (ナ イ ト)
 東 北 支 所

ガスこんろの事故に注意 ～火災事故に潜むヒューマンエラー～ (東北版資料)

1. 事故の発生状況

東北地方6県(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)で2013年度から2018年度の6年間にNITE(ナイト)に重大製品事故^{*1}として通知された情報の中で、ガスこんろの事故は8件^{**2}ありました。

死亡事故が1件、重症事故が1件、軽傷事故が2件となっています。また、使用者の誤使用などにより発生した事故は2件ありました。

表1 ガスこんろの事故の県別の年度別事故発生件数

発生年度 \ 発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
2013年度	0	2	0	0	0	0	2
2014年度	0	1	1	0	0	0	2
2015年度	0	1	0	0	0	0	1
2016年度	0	0	0	0	1	0	1
2017年度	0	1	0	0	0	0	1
2018年度	0	1	0	0	0	0	1
合 計	0	6	1	0	1	0	8

表2 ガスこんろの事故の県別の被害状況別事故発生件数

被害状況 \ 発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
死亡	0	1	0	0	0	0	1
重傷	0	1	0	0	0	0	1
軽傷	0	1	1	0	0	0	2
拡大被害	0	2	0	0	1	0	3
製品破損	0	1	0	0	0	0	1
被害なし	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	6	1	0	1	0	8

表3 ガスこんろの事故の県別の事故原因区分別発生件数

原因区分		発生県						合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
製品に起因する事故	A:設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	B:製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	C:経年劣化によるもの	0	0	0	0	1	0	1
	G3:製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	0	0	0	0	0	0
い事故 製品に起因しない	D:施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	E:誤使用や不注意によるもの	0	2	0	0	0	0	2
	F:その他製品に起因しないもの	0	2	1	0	0	0	3
G1、G2:原因不明のもの		0	0	0	0	0	0	0
H:調査中のもの		0	2	0	0	0	0	2
合 計		0	6	1	0	1	0	8

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故情報

(※2) 対象外情報を除いた事故発生件数。



使用中はその場から離れないようにしましょう

グリルはこまめに掃除しましょう

周囲に燃えやすいものは置かないようにしましょう

2. 主な事故事例

○2016年8月22日（山形県、年齢性別不明、使用期間約23年、拡大被害）

事故内容:ガスこんろを使用中、周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因:当該製品は、長期使用(約23年)により、混合管内部にススが堆積したため、混合ガスの流量が減少するとともに器具栓側に逆流し、滞留した未燃ガスに使用中のバーナーの火が引火したものと推定される。

○2015年10月25日（岩手県、50代女性、使用期間約3年4ヶ月、軽症）

事故内容:ガスこんろ及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が軽傷を負った。

事故原因:当該製品に接続されたガスホース(ゴム管)がグリル排気口付近に設置されていたため、グリルを点火後にその場を離れている間に、ガスホースがグリル排気口からの熱で溶融し、漏れたガスにグリルの火が引火し、出火に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「使用時は周囲が高温になりゴム管が溶けてガス漏れの原因となるため、ゴム管は、機器の上や下を通さない、高温部に触れない。」旨、記載されている。

○2015年2月20日（岩手県、60代男性、使用期間約6年、拡大被害）

事故内容:ガスこんろ及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因:当該製品のグリルを使用した後、消し忘れたまま外出したため、グリル内の油脂類が過熱して出火し、火災に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「火をつけたまま離れたり、外出、就寝しない。」旨、記載されている。

○2015年1月14日（宮城県、40代男性、使用期間約10年、軽傷）

事故内容:鳴動しているガス警報器を停止させ、石油温風暖房機を点火したところ、爆発が発生し、建物の一部を破損し、1名が軽傷を負った。

事故原因:石油温風暖房機を点火した際に、ガスこんろがつながっていたガス栓から漏れ出して滞留していたガスに引火して爆発したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。

○2014年3月20日（岩手県、80代女性、使用期間不明、製品破損）

事故内容:ガスこんろを使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。

事故原因:当該製品のグリル水受け皿に、使用者が水を入れずに使用したため、グリル内部が高温となり、清掃不足により水受け皿に溜まっていた油脂等が過熱し、出火に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「グリル水入れ皿にたまった脂や、調理物が燃えて火災の恐れがあるため、水受け皿には必ず水を入れて使い、使用後は必ずお手入れする」旨、記載されている

○2013年5月28日（岩手県、男児、使用期間約10年、死亡）

事故内容:建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。

事故原因:過去に男児がこんろの点火ボタンを押すことが何度かあった。

ガスこんろの右側こんろ上に置いていたフライパンの油が過熱されて出火し、火災に至ったものと推定される

3. ガスこんろの事故の実験映像について

ガスこんろの事故の実験映像に関しまして、写真及びムービーをご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

以上

【編集人のつぶやき】

ガスこんろの事故は、製品に起因した事故が約 3%なのに対し、誤使用や不注意による割合が 50%を超えるんですね！

- ・使用中はその場から離れないようにしましょう
- ・グリルはこまめに掃除しましょう
- ・周囲に燃えやすいものはおかないようにしましょう

2008年から安全装置の装備が法律で義務付けられましたが、全てをカバーしてくれるわけではありません。

「ボーツ」としてて、チコちゃんに叱られないようにしよーッ！！

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

独立行政法人製品評価技術基盤機構(略称:NITE)
東北支所 業務課

担当: 菊地(きくち)、齋藤(さいとう)、福井(ふくい)

電話: 022-256-6423

E-mail: jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ



YouTube
公式チャンネル



Twitter
公式アカウント

